

市街地をキビキビと走る
ハイポテンシャル、ジャストサイズの
ヤマハスポーツ『TDR50』
新発売について

昭和 63 年 6 月

当社では、市街地をキビキビと素早く走り回ることができ、各種ミニバイクレースでも高いポテンシャルを発揮できるエンジンパフォーマンスと確かな足回りを備えたヤマハスポーツ『TDR50』を昭和63年7月15日より新発売いたします。

このモデルの狙いとする俊敏な走りを実現させるために、コンパクトで、しかも余裕のあるライディングポジションがとれるサイズの車体構成と、パワフルな水冷エンジン、そしてストロークの大きい前後サスペンション、12インチ・中空キャストホイール、安定した制動力が得られる前後油圧ディスクブレーキなどを採用しました。

スタイリングは、本年初頭に発売いたしましたヤマハスポーツ「TDR250」と共通する都会的なフィーリングを持っており、ニュートレッドパターンのタイヤを装着した足回りを利して、さまざまなコンディションの路上も走破できる行動範囲の広いバイクです。

記

名 称 : ヤマハスポーツ「TDR50」

発 売 日 : 昭和63年7月15日

標準現金価格 : 229,000円

(北海道、沖縄および一部離島を除く)

カラーリング : ホワイト

ソフィアイエロー

販 売 計 画 : 10,000台(年間、国内)

開発の狙い

昭和61年5月に発売いたしましたヤマハスポーツ「YSR50」が復活の口火を切った50ccスポーツカテゴリーは、各社のニューモデルの導入が加わって、活況を呈しています。

50ccスポーツカテゴリーは、ヤングのモーターサイクル入門モデルとして、またベテランユーザーのセカンドバイクとして、二輪車需要の拡大に貢献してきたほか、MP12レースを初めとする新しいモーターサイクルスポーツを定着させてきました。

今回、新たにヤマハスポーツ『TDR50』を市場に投入することで、新規入門ユーザーを獲得し、底辺需要をさらに拡大すること、12インチ・カテゴリー特有の遊びの世界を一層盛り上げることを狙いとしています。

最近、50ccスポーツカテゴリーのモーターサイクルについても、より高い性能を求める傾向が強まっています。

こうしたニーズに応えるため、『TDR50』の開発にあたってのコンセプトは「ランナバウトのように街の中を俊敏に駆け巡れるパフォーマンスを備えたモデル」としています。

狙いどおりの機能を追求した結果、水冷エンジンや、12インチホイールのカテゴリーの中では長目のホイールベースを持つジャストボディサイズの採用に加え、凹凸のあるアスファルト路面も快適に走れるよう、ロングストロークのサスペンションやニュートレッドパターンのチューブレスタイヤも装着した本格的な足回り、安定した制動性能を発揮する前後ディスクブレーキなどを装備することになりました。

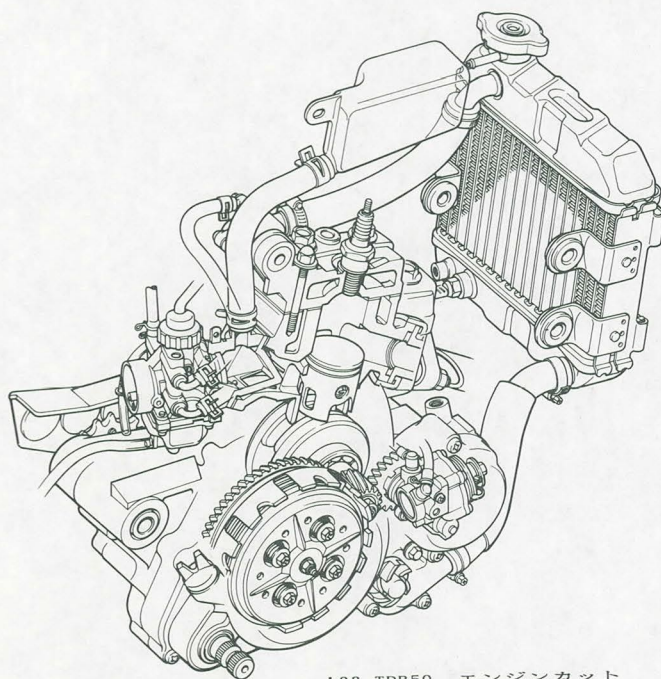
主なターゲットは、バイクの性能を重視する、遊び心あふれるヤングに置いています。

主 な 特 徴

■ パワーユニット関係

1. ハイポテンシャルの2サイクル・水冷エンジン

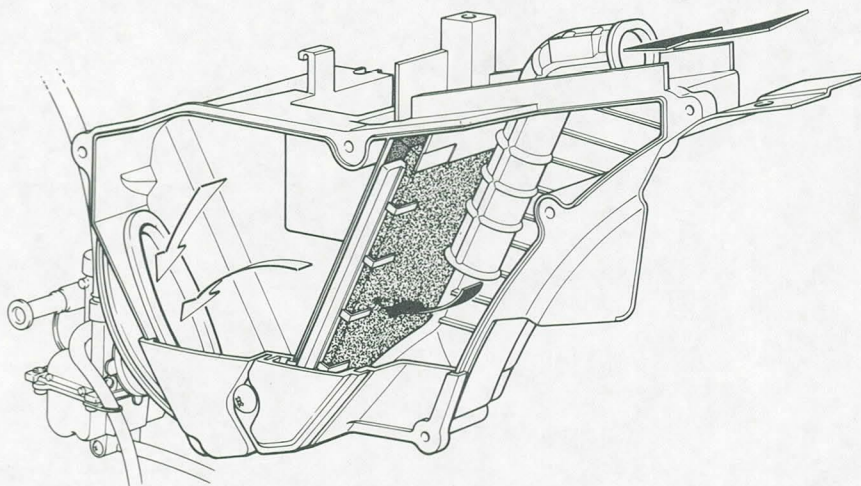
『TDR50』用に新設計を施したエンジンは、ヤマハスポーツ「RZ50」やヤマハトレール「DT50」と基本コンポーネントを同一にするポテンシャルの高い2サイクル・水冷・単気筒・49ccのピストンリードバルブエンジンで、シリンダーおよびシリンダーヘッド、またエキゾーストパイプの新作などにより、最高出力は7.2ps/10000rpmを発揮します。



またY.E.I.S.(ヤマハ・エネルギー・インダクション・システム)を装備して、低中速域の吸入効率を高めることで、キャブレションのクリーン化を促進し、出力向上と燃費向上の両面で効果を上げています。

2. 大容量エアクリナーとVMキャブレター

新設計のエアクリナーには、樹脂製のケースを採用すると共に、大容量を確保した形状としており、吸気ダクトとの組合せにより、吸気騒音を低減させることができました。

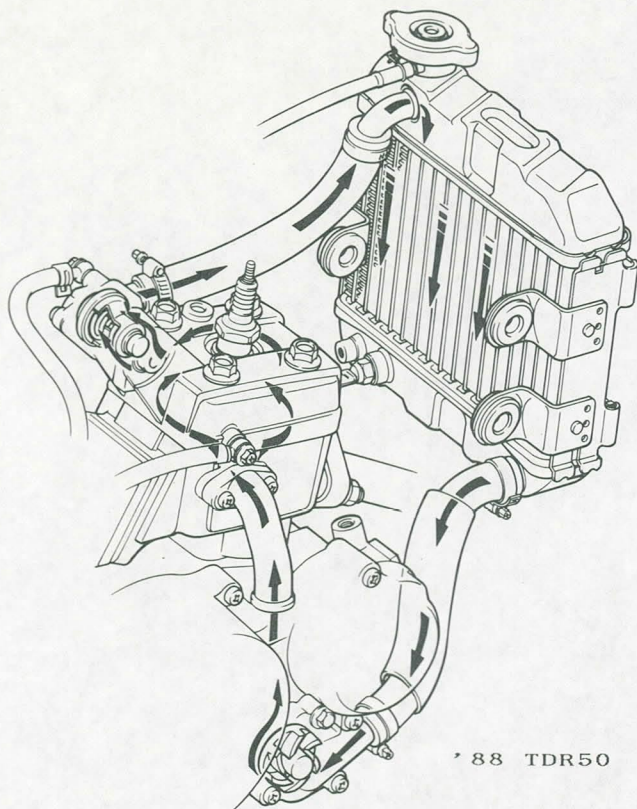


'88 TDR50 エアクリナー

キャブレターは可変ベンチュリーのVMタイプを採用し、鋭いレスポンスを得られるものとしています。

3. コンパクトで強力な水冷システム

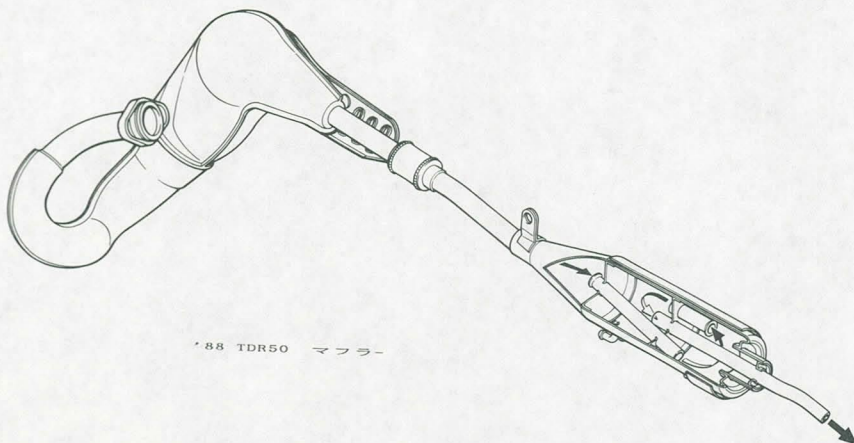
耐久レースやスーパーバイカーズ等に出場しても安定した出力を持続できるよう、エンジンの冷却には水冷方式を採用。コンパクトで高効率のラジエーター、サーモスタット、リザーバタンクを備えています。



'88 TDR50 冷却システム

4. チャンバータイプのエキゾーストパイプ

チャンバータイプのエキゾーストパイプ、サイレンサーを新設計とし、ステンレススチール製のプロテクターを装備したサイレンサーには騒音を防止する多段膨張反転式を採用。



'88 TDR50 マフラー

エキゾーストパイプ内壁にはグラスウールを使用して、騒音低減効果を高めました。

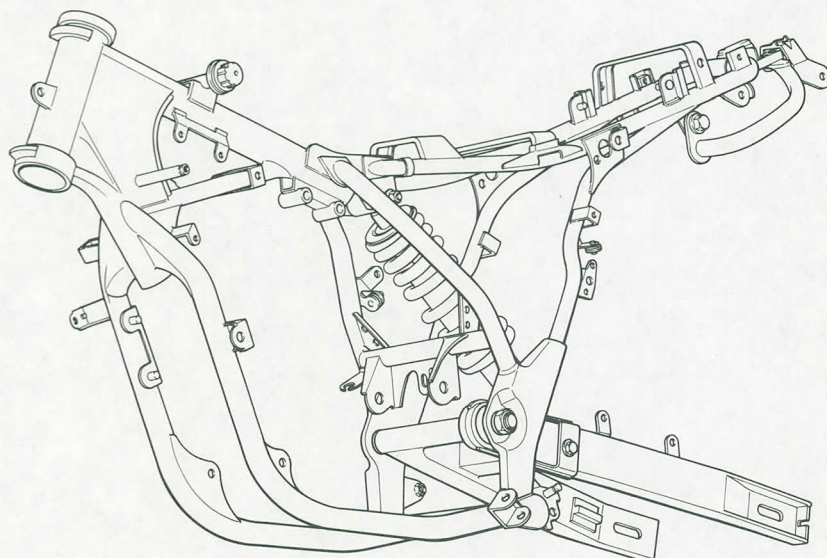
5. スポーティな走行を楽しめる6速トランスミッション

エンジンの持つポテンシャルをスムーズに引き出せるリターン式6速トランスミッションを採用。

■車体関係

1. 剛性の高い鋼管セミダブルクレードルフレーム

フレームは剛性にすぐれる鋼管セミダブルクレードル型です。



’88 TDR50 フレーム

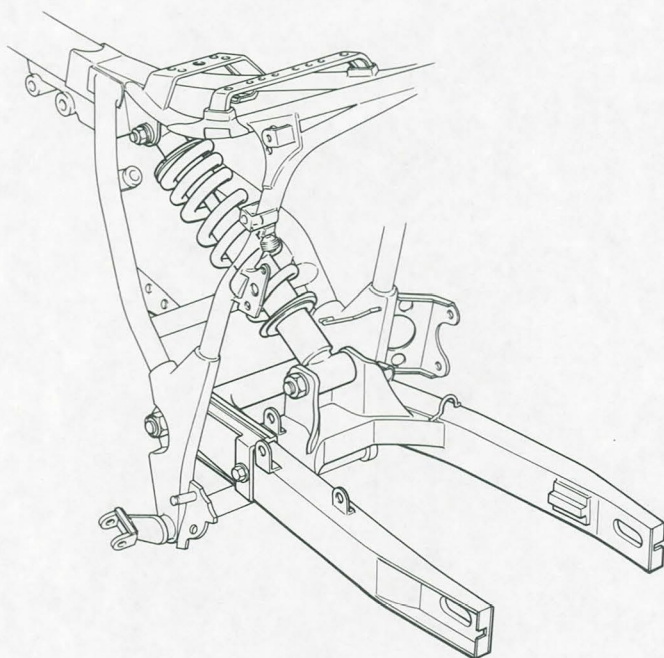
2. ニュートレッドパターンの12インチ・チューブレスタイヤ

新設計の12インチ・キャストホイールに、フロント3.50-12、リヤ100/90-12のチューブレスタイヤを装着。多少、路面のコンディションが悪い場合でも走りやすいニュートレッドパターンを採用しています。

3. 走破性の高い本格的なロングストローク・サスペンション

さまざまな道路条件のもとで、より快適に走破できるロングストロークのサスペンションを採用しました。ホイールトラベルは、フロントが140mm、リヤが130mmです。

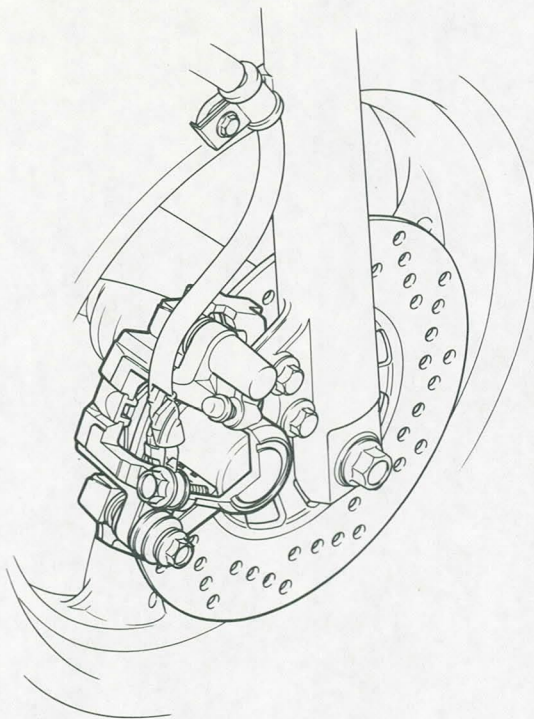
フロントフォークは大径で、アウターチューブはアルミ製。リヤのモノクロスサスペンションはド・カルボンタイプを採用しています。



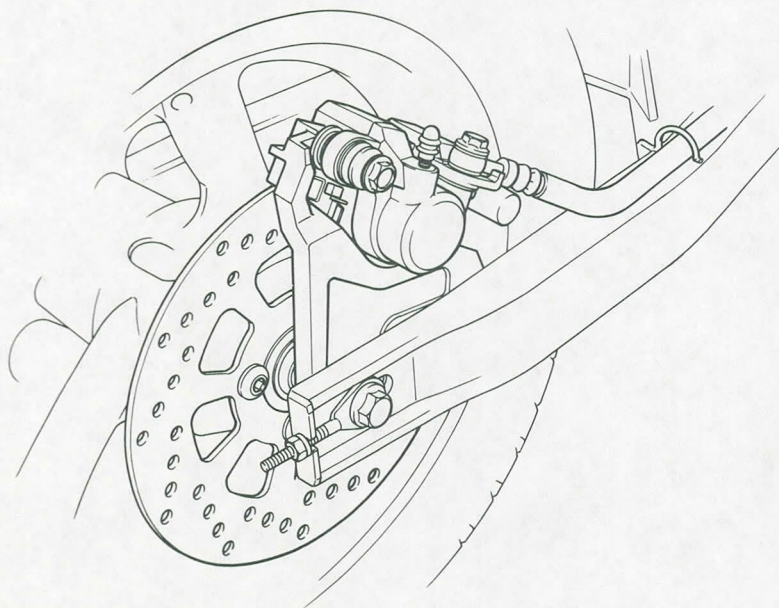
'88 TDR50 リヤサスペンション

4. 前後輪にディスクブレーキ

ブレーキは、フロント、リヤともに穴あきタイプのディスクブレーキを採用し、安定した制動力を得ています。



’88 TDR50 フロントディスク



’88 TDR50 リヤディスク

5. 容量8ℓのビッグ・フュエルタンク

フュエルタンク容量は8ℓと大きく、給油の頻度を減少させたり、行動半径を広げることが可能です。タンクキャップはフラットなエアプレーンタイプです。

6. タコメーター装着のメーターパネル

スピードメーターのほか、タコメーターをメーターパネル内に標準装備。

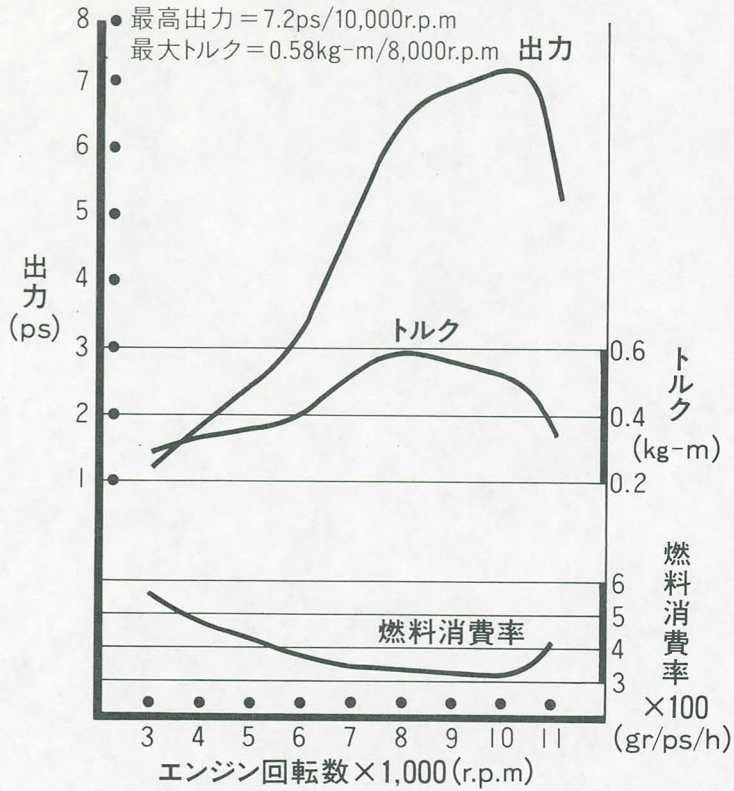
7. 個性的な「TDR」スタイリング

フレームマウント・ハーフフェアリングを装着したスタイリングは「TDR250」ゆずり。都会的なセンスを強調しました。

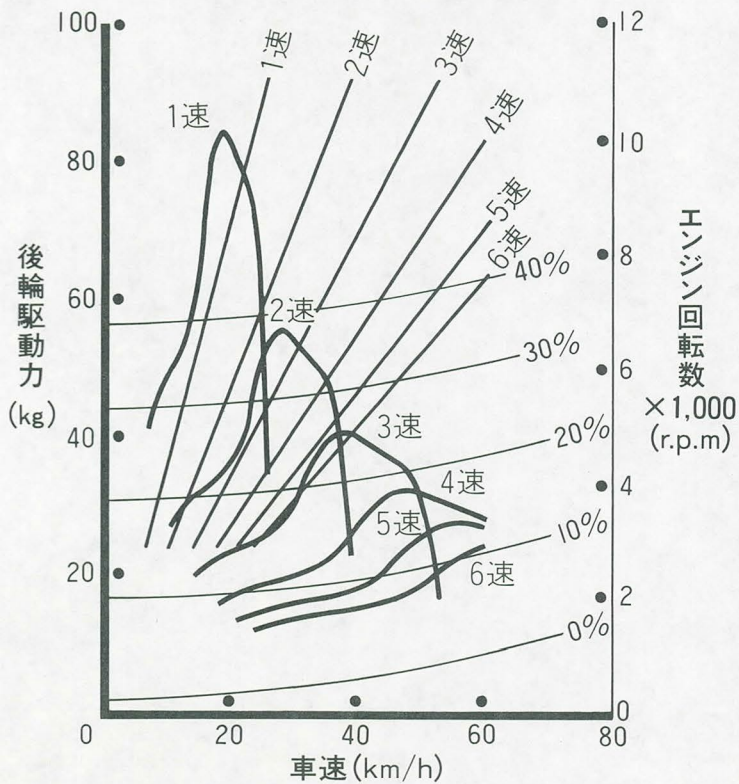
8. オプションにハイグリップタイヤとリヤキャリアを用意

用途の多様化に応じられるよう、オプションとして、ハイグリップタイヤとリヤキャリアを用意しました。

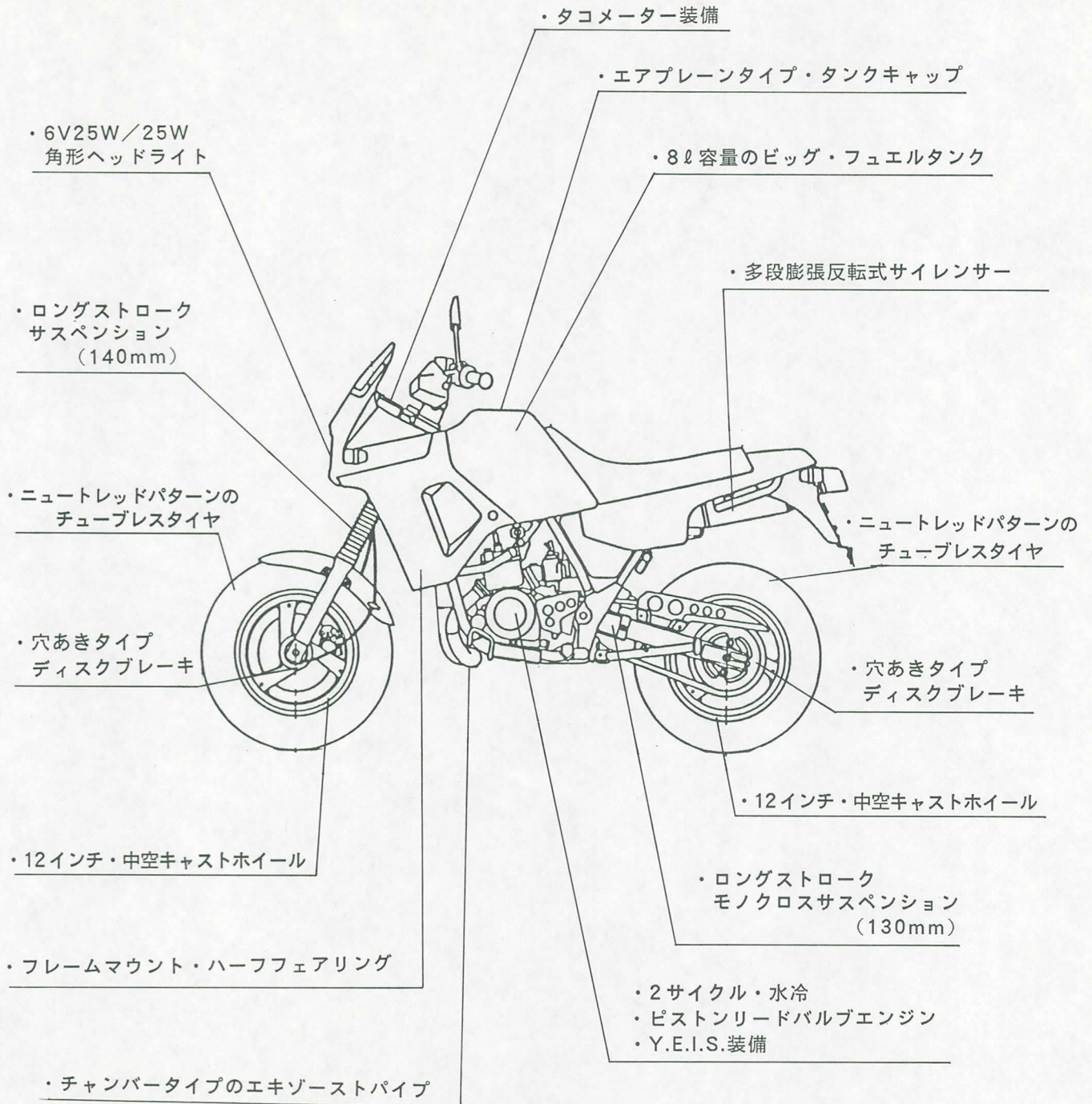
ヤマハTDR50エンジン性能曲線図



ヤマハTDR50走行性能曲線図



ヤマハスポーツ『TDR50』フィーチャーマップ



ヤマハスポーツ「TDR50」仕様諸元表

名称及型式	名 称	ヤマハ TDR50	動力伝達装置	1次減速機構		ギヤ		
	型 式	A-3FY		同上減速比	68/19	3.578		
寸法及重量	全 長	1695mm		2次減速機構		チェーン		
	全 幅	720mm		同上減速比	46/14	3.285		
	全 高	1045mm		クラッチ形式		湿式多板		
	シート高	745mm		変速機	形 式	常時噛合式前進6段		
	軸間距離	1135mm			操作方法	左足動リターン式		
	最低地上高	205mm			変速比1速	39/12	3.250	
	乾燥重量	80kg			“ 2速	34/16	2.125	
	性 能	舗装平坦路燃費			80km/ℓ (30km/h)	“ 3速	31/20	1.550
最小回転半径		2.0m	“ 4速		27/22	1.227		
原 動 機	制動停止距離	3.5m (20km/h)	“ 5速	26/25	1.040			
	原動機種類	2サイクル・水冷・ピストンリードバルブ	“ 6速	24/26	0.923			
	気筒数配列	単気筒	フレーム形式		鋼管セミダブルクレードル			
	総排気量	49cc	走行装置	キャスト	27° 30'			
	内径×行程	40.0mm×39.7mm		トレール	71mm			
	圧縮比	6.9:1	タイヤサイズ	前	3.50-12-2PR			
	最高出力	7.2ps/10,000rpm		後	100/90-12 48J			
	最大トルク	0.58kg-m/8,000rpm	制動装置	形 式	前	油圧式シングルディスク		
	始動方式	キック式		後	油圧式シングルディスク			
	潤滑方式	分離給油(ヤマハオートループ)	ブレーキ胴径 又は ディスク有効径	前	172mm			
機 装 置	オイル容量	0.8ℓ	後	172mm				
	燃料装置	エレメント種類	懸架方式	前	テレスコピック			
後			スイングアーム (モノクロスサスペンション)					
電 気 装 置	燃料タンク容量	キャブレター型式	緩衝装置	緩衝方式	前	オイルダンパー、コイルスプリング		
				後	ガス、オイルダンパー、コイルスプリング			
電 気 装 置	点火方式	点火プラグ型式	ホイールトラベル	前	140mm			
				後	130mm			
電 気 装 置	バッテリー容量	バッテリー型式	灯 火 及 照 明	ヘッドランプバルブ種類	バルブ着脱式(白熱タイプ)			
				ヘッドランプ	6V25W/25W			
電 気 装 置	バッテリー型式	6N4B-2A-3	テールランプ	6V5.3W				
			ストップランプ	6V17W				
電 気 装 置	速度計・回転計	6N4B-2A-3	フラッシャーランプ	6V8W×4				
			速度計・回転計					



ヤマハスポーツ「TDR50」